



竹田 ゆかり 市政通信

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com 「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります。

市行政の「政治的中立性」に問題はないか？

八月六日生涯学習センターで、鎌倉市主催の危機管理講座が実施された。中国が軍拡すれば、日本も軍拡すればよいとの主張を繰り返す学者を呼んでの講座に、抗議の声が上がる中、強行実施された。講座後、議事録はなぜ削除されたのか。

表題の問題性について、9月議会一般質問で取り上げ、問題点を指摘した。

講座のテーマは東アジア激変に日本は備えを」というものだ。講師のM氏はこれまで様々なインタビューや講演の中で日本の平和を守るためには、中国が軍拡すれば日本も軍拡すればよいとの主張を繰り返してきた防衛大学校名誉教授である。

当日、会場で講演内容を聞いたが、講師はこれまでと同様の持論を展開していた。

私の質問に対して担当部長は「市民の危機管理意識の向上を目的として、情報提供として実施した」と答弁している。これが単なる情報提供といえるのか。一学者の政治的主張に他ならない。

また、市民の危機管理意識の向上を目的として行ったとするならば、講座は市民にどう備えよと言っているのか。軍拡意識を持つようにと言っていることになる。

議事録開示請求をしたところ、議事録からは「中国が軍拡すれば…」の部分削除されていた。今回の講座内容は、明らかに政治的中立性を欠いたものといえる。市民にとつて現実的な危機管理意識の向上を考えるならば、異常気象による災害への備え「災害避難行動のあり方」などではないだろうか。

パレードの中身によって、市役所前庭を集合場所として許可しない鎌倉市の行為は憲法違反では？

憲法21条では「表現の自由」が認められており、その一つの形として、パレード（デモ行進）をする権利が認められている。

しかし、鎌倉市はパレードの内容が「政治的信条の普及」が目的である場合、市役所前庭を集合場所として使用することを許可しない。ちなみに、隣の藤沢市は「デモ行進の集合場所として使用する場合、許可申請することさえ求めない。規則の見直しを求めた。」

—一般質問より—

当事者に寄りそった障がい者福祉のあり方

—一般質問より

2018年3月、鎌倉市では初めて、障がい者福祉サービスを実施している市内事業所を対象に、「障がい者サービス提供実態調査」を行った。

調査結果によると、47%の事業所で、職員が定年退職以外の理由で退職している。障がい者にとっては、職員が定着することが大事な環境要素である。

さらには64%の事業所で職員不足が起きている。その結果、市が障がい者に応じた「サービス支給決定」をしても、サービスを受けられない状況が生じている。

一方で市は「障がい者福祉サービス計画成果目標」として「就労移行支援の利用者を2割増加、一般就労への移行1.5倍にする…」としているが、実態調査では就労移行支援と就労継続支援A型を実施している事業所が廃止をしたり事業の縮小を検討している。これでは目標は到底達成できない。市は何らかの手を打つ必要はないか。●市単独の福祉事業所支援が必要ではないか。

共生条例の策定は現場課題を把握して、丁寧な議論を！

- ◎…事業所の意向を聞きながら検討していく。
- 難聴児が学校で教師や発言者の声を的確に把握することができる「デジタルFM補聴器」に補助をつけて頂きたい。
- ◎…県の基準が厳しいが、市として医師の意見書があれば補助対象とする

鎌倉市は「共生社会の実現」を目指して、共生条例の策定を検討している。(市長マニフェスト)条例を作ることで、今までできなかった何ができるようになるのか。実効性のある条例にするためには、ただ理念的な言葉を並べるだけでは、意味がない。本気で「共生社会の実現」を目指すのであれば、現場課題をしっかりと把握して、課題解決のために何が足りないのか、どうあるべきかということが明確になって、そこから条例文案が立ち上がるべきである。2月に議案上程するという。市の本気度はどれほどのものか。丁寧な議論を求めらる。

小学校の空調設備、 残り6校の前倒し工事を！

一般質問より

●今年観測史上例を見ない猛暑が続いた。鎌倉市立小学校6校に空調設備がついていない。前倒しによる工事を進めるべき。◎…検討する。●中学2年生のキャンプ時に、医療従事者の配置を。◎…課題と捉えている。可能性を検討する。●中学校に配置されている「読書活動推進員」の勤務日数は週一日のみ。回数を増やす検討を。◎…可能性を再検討する。●小学校の通級指導教室を退級した生徒が、中学校に通級指導教室がないため、地元の公立中学校を断念している実態がある。設置の検討を。◎…検討を進めている。●小学校給食費の公会計化の進捗状況は。◎…先進市の視察、給食費管理システムの検討をした。今後ともスピード感をもって対応していく。●労働安全衛生体制の取り組みは。市長◎…教育委員会と協力して進めていく。

「市役所移転」基本構想…その前に

市は「市役所を深沢に移転させる」との方向性をもって、基本構想の策定作業を進めている。今後は、12月～1月にかけて、基本構想に対するパブリックコメントを募集する予定。一方「市庁舎整備」を所管する総務常任委員会では、7月から、所管事務調査（行政を監視しチェックするための調査）を行い、9月定例会において中間報告を行った。

中間報告概略

①行政サービス、特に「窓口機能」はアクセスのし易さが重要。本庁舎に集約するのではなく分散化の視点を持つべき。→市は、「本庁舎への集約・支所窓口の廃止」とする考えを変えていない。
②ワンストップサービスを提供する「総合窓口の設置」が必要 ③本庁舎移転が予定されている「深沢地域整備事業用地」の立地の安全性について最新データ・専門家の知見を踏まえた検証・説明を求め、→市は「市役所整備検討委員会」の中で検証すると答弁している。

<9月議会で可決した主な議案>

①一般会計補正予算 175,868,000円
<内容>（仮称）きみのまま保育園（小規模保育0才～2才）が来年4月開所予定。改修工事費補助。特別養護老人ホーム「ヒルズ桜栄鎌倉」が20床追加開設する。介護保険施設整備補助金交付。（仮称）浄明寺緑地修繕。防護網内のがけ崩壊の本復旧のため。源氏山公園第一公衆トイレ改修事業費など 竹田賛成

鎌倉市歴史文化交流館のあり方を問う！

<陳情20号の審査を終えて>

<陳情の要旨>

交流館が開館して1年半がたつ。中世展示室・考古展示室は充実してきたが、近世/近現代展示室に、鎌倉の近現代史を紹介するものがない。市民の間には近現代を調査研究した資料が膨大にある。近世/近現代展示室を充実させるために、市民と交流館職員による「近世/近現代展示室」の「展示活用検討委員会」を設置し、市民力を導入する政策の実施を要望する。

<市の考え>

近現代史の展示が十分ではないと認識している。交流館は学芸員の学術的調査・研究成果の展示で構成するものと考えている。現状では市民との検討委員会設置は考えていない。

<竹田ゆかりの考え>

歴史文化交流館の基本理念は「鎌倉の歴史に親しみ、その価値を未来に継承する施設」としている。鎌倉の歴史に親しむのは誰か。誰が継承していくのか。市民が歴史交流館の運営に主体的に携わってこそ、理解が深まり、歴史を継承していくという意識が生まれるのではないかと。県内他市の公立博物館は、それぞれ形態は異なるが運営は「市民協働型」であり、開かれた博物館を目指している。

●県立博では「県博フレンズ」を募集し、実施事業に関して博物館側と意見交換をする。●相模原市立博物館では歴史分野ごとの「市民学芸員」を募集。展示アイデア等を出したり、クイズラリー等を作る。●横浜歴史博物館では市民ボランティア、ガイドボランティアを募集。●平塚市立博物館では学芸員とともに研究をする市民を募集。研究会は10個以上。論文まとめたり、研究成果を展示する。

鎌倉市においても、市民協働型の歴史文化交流館を目指すべきである。

陳情審査の結果→継続



②2017年度一般会計歳入歳出決算の認定

竹田不認定

<9月議会で採択された議会議案>

①鎌倉市「平和都市宣言」60周年を迎えての決議
②クジラの赤ちゃんからのメッセージを受け止めSDGsの目標を反映させる取り組みを求める決議